

『”3乗”ムーブメント創出業務』業務 (定員1名)

1. 地域の特徴

- ・大野市と福井市を連絡する公共交通は、福井駅から九頭竜湖駅まで運行するJR越美北線（通称：九頭竜線）と、その越美北線に平行して走る広域路線バス大野線があります。勝山市との移動は広域路線バス勝山大野線が担っています。
- ・越美北線や広域路線バス、市営バスはダイヤやサービスについて互いに補完することで利便性を確保しています。
- ・2024年には北陸新幹線が敦賀駅まで開業したことから都市群とのアクセスは良好です。
- ・越美北線の沿線では、春は勝原駅の花桃、夏には1級河川九頭竜川沿いの絶景、秋は日本紅葉の名所100選にも選ばれた九頭竜湖、冬は銀世界の中を走る車両と、四季折々の景色を楽しむことができます。
- ・また、沿線には城下町の風情を残す街並みや化石発掘体験などのアクティビティのほか、名水で育ったお米や野菜、蕎麦など食の魅力も満載です。
- ・越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会（通称：乗る会）は、沿線自治体（大野市、福井市、福井県）および交通事業者、観光事業者、沿線代表市民で構成し、乗り方教室の開催や沿線の美化活動のほか様々な啓発活動を通して越美北線、乗合バスを積極的に利用し将来へ存続させることを目的に活動しています。



ここがポイント ✨

- ☑ 越美北線は風光明媚なローカル線
- ☑ 越美北線と広域路線バスを一体的に利用することで利便性を確保
- ☑ 沿線は魅力的な地域資源、観光資源で溢れている
- ☑ 新幹線開業により観光圏からの観光利用拡大のポテンシャルが高い

2. 活動内容

MISSION ”3乗”ムーブメントを創出！

- ・越美北線、広域路線バスは移動制約者にとって欠かすことができない、また、沿線地域の暮らしを守るためにも必要な交通インフラです。
- ・越美北線の利用者数は近年、増加傾向にあるものの、大量輸送という鉄道の特性が発揮できていないことや、広域路線バスの利用者数は減少傾向にあるなど、厳しい状況に置かれています。
- ・「越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会」では沿線住民が公共交通に触れる機会を設けることを通じて、利用の促進に取り組んでいます。
- ・R7.11月にはキャッチフレーズ「3乗でつなぐ越美北線の未来」と題し、講演会・座談会を実施しました。年3回広域公共交通を利用すること「3乗」を目標に、今後、更なる利用促進に注力が必要です。
- ・乗る会や沿線の団体と連携して、沿線の住民を巻き込んだ、利用促進のムーブメントを創出するため、様々な活動や情報発信を行います。

”3乗”ムーブメント創出業務の主な活動

- ・3乗の実現のため新たな方策の企画及び運営
- ・乗る会のほか、沿線の団体と連携した情報発信やにぎわいの創出 など

こんな方を求めています！（一例）

- ・地域公共交通に興味のある方
- ・ローカル線が好きな方
- ・SNSなどでの情報発信に意欲のある方
- ・人や地域との交流が好きな方



担当課

大野市役所暮らし環境部 交通住宅まちづくり課

受入団体

越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会 事務局